

告 辞

本日ここに、佛教大学通信教育課程第 25 回後期大学院学位記ならびに第 69 回後期卒業証書授与式、通学課程第 73 回後期卒業証書授与式を挙行できますことを、誠に喜ばしく、また心からの祝意を込めてお祝い申し上げます。

まず、本日学位記・卒業証書を手にされる皆さまに、心より「おめでとうございます」と申し上げます。長きにわたり学問探究に励まれた努力が、今日この佳き日に結実いたしました。その歩みを支えてこられたご家族、ご友人、そして恩師の方々にも、あらためて深い敬意と感謝の意を表します。

佛教大学は建学以来、「仏教精神に基づく人材養成」を目的に、知識と実践を結びつける教育を重視してまいりました。学問を深めることは、自らを磨くだけでなく、社会に生きる人々とのつながりを新たに、共生と調和の世界を築く礎ともなります。皆さまが本学で学ばれた知識と経験は、これからの人生において確かな羅針盤となるでしょう。

本学の通信教育課程は、全国各地から、年齢や職業を超えて多様な方々が学びを志し、ともに研鑽を重ねる場として発展してまいりました。そこに流れているのは、まさに「生涯学び続ける」姿勢であります。今日学位を授与される修了生、卒業生の皆さまは、この精神を体現され、後に続く多くの学びの仲間たちにとって大きな励みとなることでしょう。

一方、通学課程の皆さまは、青春の日々をキャンパスにおいて仲間と切磋琢磨し、知を深め、人間性を養ってられました。学友との出会いや、先生方との対話は、単なる思い出にとどまらず、これから社会に羽ばたく皆さまの支えとなり、困難を乗り越える力になるに違いありません。

これから皆さまは、それぞれの道で新たな挑戦を迎えられます。社会は変化を続け、不確実性の時代と呼ばれています。しかし、どのような時代にあっても、他者を思いやり、和を尊び、真摯に学び続ける姿勢こそが、人としての成長を導き、社会をより良くする原動力となります。

本学の精神を胸に刻み、どうか勇気をもって歩みを進めてください。

結びに、本日ご卒業・ご修了を迎えられた皆さまの前途に、無限の可能性と幸福が開かれることを心から祈念いたしまして、私の告辞といたします。

令和 7 年 9 月 28 日

佛教大学長 佐藤和順